

# DF、MF、FW…攻守に躍動するユーティリティープレイヤー



## 安西 幸輝

J2東京Vは第9節を終え6勝3敗、勝ち点を18に伸ばして首位に立っている。第6節のアウエー岡山戦(2日)を制し2015年8月以来の5連勝。その後は2連敗したものの、前節(22日)のホーム群馬戦に3-1で勝



DF、MF、FWと複数のポジションをこなす攻守で貢献する安西

ち、再び首位に浮上した。今月に入ってから4試合で、輝きを放った選手が安西幸輝だ。ユース出身の21歳は岡山戦の後半13分から左ウイングとして途中出場すると36分に見せ場を作った。

自陣右サイドの高木大から前線にくさびのボールが入るが、相手がインターセプトして前線に運ぼうとする。その後から安西が猛烈なスプリ

ントでプレスをかけ、ボールを奪ってチャンスメイク。高木善、安在とつなぎ、クロスボールに飛び込んだ安西が押し込んだ。これが決勝点となり、チームを2年ぶりの5連勝に導いた。

「僕の持ち味は運動量。守備でもチームメイトを助けられたらいいなと思っていて。あきらめずにゴール前まで行けたのがよかった」と振り返

り、ロティエナ監督は「得点だけでなく、ほかのプレーもよかった。コウキがチーム」にいい流れを持ってきた。続く第7節の湘南戦(9日)は、前節のプレーを評価されて左ウイングで今季初先発。その期待に応え、前半16分、相手DFのクリアボールを豪快にけり込み2試合連続得点をマークした。守備の要・永田が負傷離脱したこともあって試合には2-3で敗れたが、その存在感は際立っていた。

続く第8節山形戦(15日)は本来の右MFでプレー。前節群馬戦は途中出場ながら、チームの3戦ぶりの勝利に貢献した。今後もレギュラー争いが続くことになるが、DF、MF、FWと複数のポジションをこなす安西の存在は貴重だ。「チーム内の競争があるからその(首位という)順位だと思っ、これからもっと強い相手と戦う。そういう相手に勝っていくことが大事になると思うので、しっかりと引き締めていきたい」と自覚も十分だ。

個人成績は2014年3月のデビュー以来、J2通算17試合出場で5得点。今季チームが2008年以来10年ぶりとなるJ1復帰を果たせば、来季は自身初となるJ1の舞台で戦えることになる。

きょう29日には、アウエーで福岡と対戦する。攻守に躍動するユーティリティープレイヤー・安西が今後もチームのキーマンになるはずだ。(次回5月27日掲載予定)